

ネットワークをみつめ、安定稼働をサポートします

ネットワーク監視システム Slim-PB

概要



Hardware概要

RoHS 指令準拠	PoE 受電(af準拠)	AUTO MDIX	ファンレス 静音設計	HDDレス 駆動部低減
---------------------	------------------------	------------------	----------------------	-----------------------

接続 Interface

LAN 10/100Base-T	2 ポート	DIO 標準装備	RS232C 標準装備	USB 標準装備
----------------------------	-----------------	--------------------	-----------------------	--------------------

全体図



前面図



シリアルポート
USB x 2
10/100BASE-T (PoE)
LED

後面図

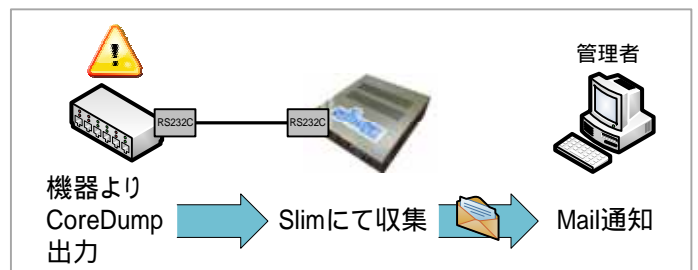


DC IN
10/100BASE-T
デジタルIOポート

特徴機能

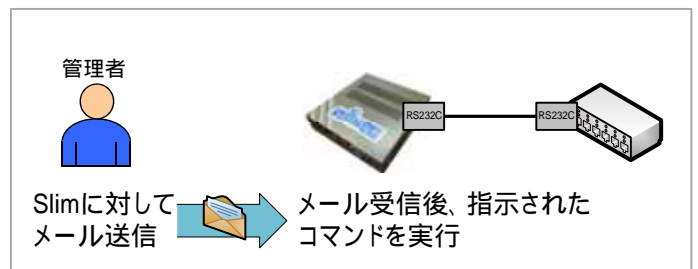
■ネットワーク機器がコンソールより出力するログを収集することができます。

通常、ネットワーク機器がハングアップした場合、コンソールポートからコアダンプ (Core Dump) が出力されます。コアダンプは、故障解析などに有効な情報となります。しかし、コンソールポートのログは収集されておらず、出力されたコアダンプは通常破棄されています。Slim-PBをネットワーク機器のコンソールと接続することで、ログの収集を容易にします。



■コマンドをメールで指示し、機器を操作することができます。

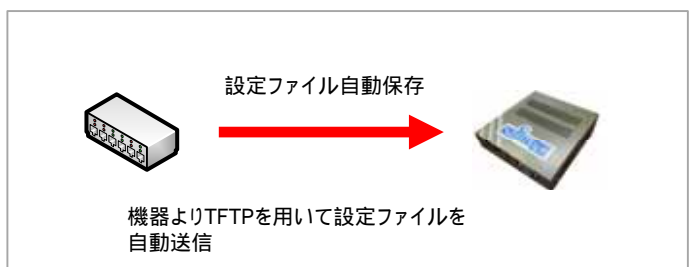
Slim-PBに対して特定の件名でメール(コマンドメール)を送信することにより、コンソール経由で機器をコントロールすることができます。ネットワーク管理者が出張などで社内LANにアクセスできない場合、機器の状況把握を行う事ができません。Slim-PBに対して特定の件名でメール(コマンドメール)を送信することにより、コンソール経由で機器をコントロールできます。送信したコマンドの実行結果をメールで受信でき、遠隔地での機器の状況把握に対応できます。



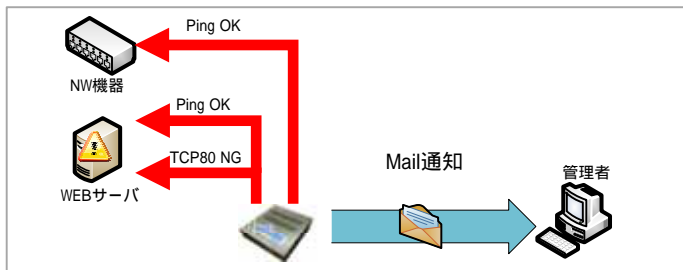
上記機能を使用するには、Slim-PBと対象機器を1対1でコンソール接続する必要があります。

■機器の設定ファイルを自動保存できます。

指定した監視機器の設定ファイルをTFTPを使用し自動でSlim-PBに送信し保存します。GUIよりボタンを押しての即時実行と、保存間隔指定の自動保存が可能です。機器の設定になれていない管理者の方でも簡単に設定ファイルの保存が可能です。機器台数が多い場合には管理者の運用負荷を削減できます。



■Ping/TCPポートによる生存監視 (AliveChecker)



・生存監視は、PING/SNMP/指定したTCPポートへの接続性を定期的に変化する状態を検証することにより、対象機器の生存監視を行うことが可能です。

・監視機器のステータスが変わった際に、メールによる管理者への通知も行うことが可能です。

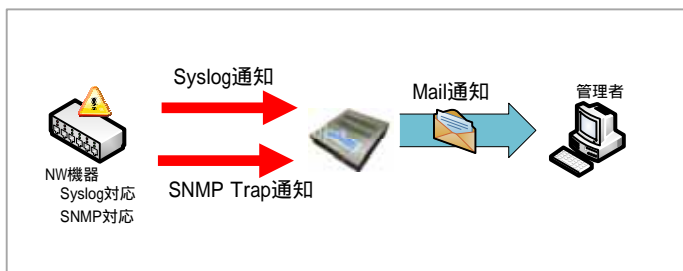
■トラフィック情報収集 (TrafficGrapher)



・SNMPを使用しネットワーク機器の通信量やポートのエラー数などを収集します。収集したデータはcsv形式で保存され、MRTGを使用しグラフ化することができます。

・各MIB値に対して閾値を設定することにより、一定量以上のトラフィックが発生した場合、メールで通知することも可能です。

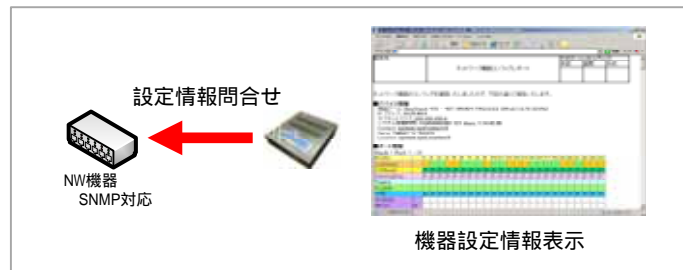
■シスログ管理 (SyslogControl)



・SlimがSyslogサーバとして動作しているため、機器からのSyslog、SNMP Trapを受信することができます。

・受信したメッセージにフィルタをかけ、メールで送信することができます。

■機器設定情報表示 (DeviceView)



・ネットワーク機器の設定情報は、通常、専用のGUIやTelnetなどで見る必要がありますが、デバイス情報では、その機器の各設定内容をGUIより、レポートとして表示することが可能です。

・複数ベンダーを使用したネットワーク環境において、フォーマットを統一化させることにより、管理者の負担を軽減します。

■機器情報監視 (DeviceChecker)



・SNMPを使用しネットワーク機器の状態を監視します。

・監視可能な項目はサポートされる機器によって異なりますが、ポートのリンクアップ/ダウンの監視、CPU使用率、メモリ使用率、Stack可能な機器の場合、各Unitの生存状態等を監視することが可能です。

製品仕様

型番	SLM-PB-003U
CPU	NEC製 VR5701 内蔵VR5500Aコア
Memory	最大動作周波数333MHz、64bit/133MHz バス接続
Flash ROM	DDR-SDRAM、128MHz、32bit 幅 クロック周波数133MHz
Flash ROM	32MB
NIC	10/100 イーサネットコントローラ×2 チャンネル:32bit/33MHzPCI バス接続 (eth0のみPoE対応)
シリアルポート	VR5701 内蔵UART、RS23 ドライバ、D-Sub9×1(DTE)
USBポート	USB2.0 ホストコントローラ、32bit/33MHzPCI バス接続
デジタルI/Oポート	VR5701 内蔵GPIO、LVCMOS レベル、入力x4、出力x4、2.54mm 間隔ボックスコネクタ
LED	VR5701 内蔵GPIO、7セグメント×1
電源	PoE対応(eth0) DC12V/2A(ACアダプタ付属AC100V)
消費電力	約4~5W(USBに給電しない場合)
動作条件	0~60
外寸(W×H×D)	121mm×21mm×131mm
重量	281g(AC アダプタ含まず)

お問い合わせ先



株式会社ネットケアサービス

大阪本社
〒535-0021 大阪府大阪市旭区清水5-13-16
TEL.06-6957-8651 FAX.06-6956-1238

九州営業所
〒860-0834 熊本県熊本市江越2-21-28-101
TEL.096-355-7996 FAX.096-355-7997

www.e-care3.net

会社の社名および製品名は自社の商標または登録商標です。
記載内容は2010年1月現在のものです。内容は予告なく変更される場合があります。
Copyright © 2010 NetCare Service Co., Ltd.

東京支店
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-4-1 BR. K&S. FIELD 2F
TEL.03-3863-3501 FAX.03-3863-1894

山形出張所
〒997-0022 山形県鶴岡市切添町12-40 加藤ビル1B
TEL.0235-26-2525 FAX.0235-26-2525